

# 柴谷方良先生講演会

2015 年夏

札幌大学認知言語学研究会主催講演会のご案内

札幌大学認知言語学研究会は、本学の認知言語学系の教員と院生・学部学生の研究活動の興隆、並びに学外研究者の方々との研究交流を目的として 2010 年に設立され、学内での認知言語学系の教員・院生による研究発表会や共同研究はもとより、年に数度、学外から著名な言語学者の方々をお招きし、ご講演いただき、本研究会の充実を図っております。

当研究会での講演やセミナーは学外の方々にも公開させて頂いており、これまでも多くの方々にご参加いただいております。当研究会の活動状況は、ホームページを通じて随時ご紹介していく予定となっておりますので、ご覧頂けましたら有難く存じます。

2015 年度につきましては、柴谷 方良 先生（ライス大学教授、神戸大学名誉教授）をお招きし、講演会を開催させて頂けることとなりました。大変貴重な機会でございますので、是非、多くの方々にご参加頂けましたら大変有難く、よろしくお願い申し上げます。

## 開催日

2015 年 7 月 11 日土曜日

## 時間

第 1 講義：11:00-12:30

第 2 講義：14:00-15:30

質疑応答：15:30-16:00

講演会終了後、札幌市内で懇親会（有料）あり。  
懇親会の情報は決まり次第当研究会 HP(URL は裏面に記載)にてお知らせします。

## 会場

札幌大学  
札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3 番 1 号

## 講演者

柴谷 方良 先生  
(ライス大学教授、  
神戸大学名誉教授)



## 演題

What is nominalization?  
—Toward the theoretical foundations of nominalization—  
(日本語による講演です。詳しい講演内容は裏面に  
案内がございます。)

## 参加費

無料

## 申し込み方法

会場や準備の関係で予約制となります。事前に e-mail にて、件名に「柴谷方良先生講演会参加希望」とご記入いただき、本文に次の情報をお書き添えの上、お申し込み下さい。

1. ご芳名（必須）
2. ご所属（必須）
3. ご連絡先の e-mail（確実に連絡が取れるアドレスをご記入下さい。）（必須）
4. 今後、本研究会主催の研究会・セミナー・講演会の情報や関連情報を希望する場合は「情報を希望する」と明記（オプション）

送付先 e-mail アドレス：sucogling[at]gmail.com

定員は 70 名です（定員になり次第、締め切らせていただきます）。お申し込みいただきました方には 1 週間以内にこちらから返信申し上げます。なお、1 週間を経過しても返信がない場合には、何らかの事故が考えられますので、再度ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

講演会の情報は当研究会 HP(URL は裏面に記載)にて随時更新し、お知らせいたします。

→裏面へ続く→

## アクセス情報

### ◆地下鉄南北線「澄川駅」下車

中央バス西岡環状線 [澄 73] (西岡 3 条先回り)、  
下西岡線 [南 71]、西岡線 [南 81]、澄川白石線  
[澄 78] のいずれかで、「札大南門」下車 (乗車  
時間約 6 分)

タクシーにて (乗車時間約 10 分 / 800 円程度)

### ◆地下鉄東豊線「月寒中央駅」下車

中央バス澄川白石線 [澄 78]、または西岡月寒線  
[月 82] で、「札大正門前」下車 (乗車時間約 9 分)  
タクシーにて (乗車時間約 10 分 / 1,000 円程度)

### ◆「新千歳空港」からバス (乗り換えなし)

北都交通「アパホテル&リゾート<札幌>行き」  
で「札幌大学前」下車 (乗車時間約 60 分 / 片  
道 1,030 円)

北都交通「円山バスターミナル行き」で「札大  
南門」下車 (乗車時間約 60 分 / 片道 1,030 円)

## 宿泊情報

ホテル等の宿泊施設のご紹介は特に致しませんが、ご質問がございましたら e-mail にてご遠慮なくお問い合わせ下さい。また、この時期は観光オン・シーズン期のため、直前ですと札幌市内の宿泊施設で予約が取れないという事態が発生する可能性がございます。ご参加いただけます場合には、数ヶ月前よりご予約されることを強くおすすめいたします。

## お問い合わせ

札幌大学認知言語学研究会

札幌大学 濱田英人研究室・對馬康博研究室

e-mail: [sucogling\[at\]gmail.com](mailto:sucogling[at]gmail.com)

HP:

<http://web.sapporo-u.ac.jp/~cogling/sucogling/SUCogLing.html>

## 講演内容

日本語による講演です。

What is nominalization?

—Toward the theoretical foundations of nominalization—

Masayoshi Shibatani

Deedee McMurtry Professor of Humanities and Professor of Linguistics, Rice University

Professor Emeritus, Kobe University

Despite the tremendous progress in the study of nominalization in recent years, there remain a large number of fundamental issues unanswered or unexplored. This presentation examines many of the central questions that a comprehensive study of nominalization must address, including the following:

1. The cognitive mechanism underlying nominalization processes
2. The nature of nominals—what does it mean to be a nominal?
3. Syntactic and semantic distinctions between lexical and grammatical nominalizations
4. Internal- and external syntax of nominalizations
5. Usage patterns of nominalizations—NP-(referential) use and Modification-use; the phenomenon of “insubordination/desubordination”
6. Distinctions between nominalizing morphology (nominalizers) and nominalization markers (markers of the NP-use of nominalizations)
7. Nominal(N’s and NP’s)-based nominalizations: Genitive constructions as nominalizations
8. Numeral classifiers as numeral-based nominalizations and their uses
9. Classifier-based nominalizers and nominalization markers
10. Historical developments of nominalization markers and nominalizers
11. Implications of the new perspectives on nominalization to the previous grammatical studies, including the formal and typological studies of relative clauses